

ユニバーサルデザインの視点を取り入れた

「分かる!」「できる!」学校全体で取り組む授業の土台づくりハンドブック 活用事例

1 活用した項目(該当する内容は口を☑ に変えて表示)	
☑ すべての子どもを対象とした校内支援体制整備の在り方	☑ すべての子どもにとって過ごしやすい環境づくりと実践例
☑ 「分かる」「できる」を実感できる授業づくりの進め方と実践例	☑ 「分かる」「できる」を実感できる授業づくりチェックシート

2 活用場面
○ 毎週水曜日の職員連絡会の中で行う「ミニ研修会」(約5分間)

3 活用対象
○ 全職員

4 活用の詳細																		
(ミニ研修会の取組)																		
① 職員連絡会で不定期にエリアコーディネーターによる「ミニ研修会」(約5分間)を実施することを提案。																		
② 1人1冊ハンドブックを配付。書き込み可。最終的には個人用とするが、年度末に回収する。																		
③ ミニ研修会の計画																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修日予定日</th> <th>研修内容</th> <th>ページ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月 日</td> <td>ハンドブック作成の目的 校内支援体制の中でのあなたの立場での役割</td> <td>P1~3 P6~10</td> </tr> <tr> <td>5月 日</td> <td>すべての子どもにとって過ごしやすい環境とは?①②⑤</td> <td>P13~15、19、20</td> </tr> <tr> <td>6月 日</td> <td>「分かる」「できる」を実感できる授業づくりの進め方と実践例①②</td> <td>P21~26</td> </tr> <tr> <td>6月 日</td> <td>すべての子どもにとって過ごしやすい環境とは?③④</td> <td>P16~18</td> </tr> <tr> <td>7月 日</td> <td>「分かる」「できる」を実感できる授業づくりの進め方と実践例③④</td> <td>P27~31</td> </tr> </tbody> </table>	研修日予定日	研修内容	ページ数	5月 日	ハンドブック作成の目的 校内支援体制の中でのあなたの立場での役割	P1~3 P6~10	5月 日	すべての子どもにとって過ごしやすい環境とは?①②⑤	P13~15、19、20	6月 日	「分かる」「できる」を実感できる授業づくりの進め方と実践例①②	P21~26	6月 日	すべての子どもにとって過ごしやすい環境とは?③④	P16~18	7月 日	「分かる」「できる」を実感できる授業づくりの進め方と実践例③④	P27~31
研修日予定日	研修内容	ページ数																
5月 日	ハンドブック作成の目的 校内支援体制の中でのあなたの立場での役割	P1~3 P6~10																
5月 日	すべての子どもにとって過ごしやすい環境とは?①②⑤	P13~15、19、20																
6月 日	「分かる」「できる」を実感できる授業づくりの進め方と実践例①②	P21~26																
6月 日	すべての子どもにとって過ごしやすい環境とは?③④	P16~18																
7月 日	「分かる」「できる」を実感できる授業づくりの進め方と実践例③④	P27~31																
※ 職員連絡会はリモートでの実施。(本来は、質疑応答や協議の時間が設けられるとよい。)																		
※ 話だけにならないよう、文字カードや写真などを多用した。																		
④ ミニ研修会とリンクした啓発資料を職員室に掲示。																		
⑤ ミニ研修会についてのアンケート実施(誰かが定期的に啓発してくれるとありがたい、短時間の研修を定期的に実施してもらいたい、見てすぐに真似できるハンドブックがよい等の意見あり)																		
⑥ 2学期は、ハンドブックの内容についての各学級の実践を紹介。																		
(授業づくりチェックシートの活用)																		
① 年度初めに実施した特別支援教育研修会において、ハンドブックの紹介とともに、チェックシートの内容に取り組むことが授業のユニバーサルデザイン化につながることを説明。																		
② 4月にチェックシートを全職員へ配付。学期末にチェックしてもらい回収。学校全体の取組として取り組み状況を数値化して紹介。																		